

猫の侵入防止対策



自宅の敷地内は、敷地の所有者自身が猫が入ってこないよう対策をとることが原則です。敷地内に猫が入ってきて困る方は、次のような侵入防止策をとってみましょう。

猫が好む場所とは

- 人の出入りが少なく、静かで安心できる場所
- やわらかい土や砂、芝生等がある場所
- 簡単にエサが得られる場所

猫にとって快適となっているその場所を、猫が嫌いな場所に変えると効果があります。

猫よけのポイント

猫は、なわばり意識がとても強い動物です。猫よけのポイントとしては、猫の嫌がることを、慣らすことなく、学習するまで継続することです。猫には個体差があるため、あまり反応しない猫もありますが、様々な方法を交互に試してみたり、組み合わせて行うなどの工夫をするのも効果的です。

(留意事項) 猫は愛護動物ですので、虐待にあたるようなことは絶対にしないでください。法律で罰せられます。

臭いによる方法

猫の嫌がる臭いや刺激性によって猫を近づけにくくする方法です。効果が持続しない場合が多く、特に雨や風で効果が薄れます。そのため、継続して使用・散布する必要があります。

- 市販の猫用忌避剤を使用する。
- ハーブ類(レモングラスなど)を植える。
- ゼラニウムの鉢植えをおく。(葉が臭うので近寄らない)
- コーヒー、どくだみ茶等の茶殻、唐辛子、にんにく(細かく切る)、みかん等のかんきつ類の皮を撒く。
- 食酢や木酢液を古着や布等に染み込ませて、猫の侵入路におく。

物理的な方法

- ごみ処理を確実にして、荒らされないようにする。
- ごみをあさらないように、ゴミ袋に網をかける。
- 網やネットなどを張り、侵入路を防ぐ。
- 水を嫌うので、ホースでたっぷり水を撒く。
- 市販のねこよけシート(突起がついたシート)を使用する。
- 市販の超音波発生器などの猫よけ道具を使用する。

その他

- 猫のトイレを作る
畑を掘り返されたり、特定の場所にフンをされたくない場合、決まった場所でフンをしてもらうようにトイレを設置します。市販の物でなくても、プランターや発泡スチロールの箱などに、柔らかい砂や土を入れるといった、簡易的な物でも代用できます。他の場所でフンをされるよりマシ、という方はお試しください。ただし、フン尿の処理を定期的にしていただく必要があります。